## 演習問題 2025年11月6日(木)

下の問題を解け、なお解答は配布した解答用紙に解答すること、

ただし解答に関しては答えのみならず、答えを導出する過程をきちんと記すこと、また解 答用紙は1人1枚以上提出すること.

第1問. 行列 A を次で定めるとき,以下の問いに答えよ.

$$A = \begin{pmatrix} 2 & 4 & -3 & 8 \\ 3 & -1 & 2 & -5 \\ 18 & 0 & 2 & 12 \end{pmatrix}$$

- (1) *A* は何行何列の行列か?
- (2) Aの(3,2)成分を答えよ.
- (3) Aの第2行を答えよ.
- (4) A の第3列を答えよ.

第2問.次の行列の計算をせよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 5 & -2 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} - 3 \begin{pmatrix} 3 & 4 \\ 1 & -2 \end{pmatrix}$$

$$(2) \begin{pmatrix} 2 & 0 \\ -1 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 0 & -1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 3 & 1 \\ 2 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$$

$$(3) \begin{pmatrix} 5 & 0 \\ 0 & 2 \end{pmatrix}^{3} + 3 \begin{pmatrix} 5 & 1 \\ 1 & 2 \end{pmatrix}$$

第3問.次の問いに答えよ.

(1) 
$$\begin{pmatrix} 3 & 1 \\ 2 & 4 \end{pmatrix}$$
 の行列式を求めよ.  
(2)  $\begin{pmatrix} 2 & 1 \\ -5 & 3 \end{pmatrix}$  の逆行列を求めよ  
(3)  $\begin{pmatrix} 100 & 99 \\ 99 & 100 \end{pmatrix}$  の逆行列を求めよ

$$(2)$$
  $\begin{pmatrix} 2 & 1 \\ -5 & 3 \end{pmatrix}$  の逆行列を求めよ

$$(3)$$
  $\begin{pmatrix} 100 & 99 \\ 99 & 100 \end{pmatrix}$  の逆行列を求めよ

第 4 問. (1) 
$$A = \begin{pmatrix} 4 & 2 \\ 0 & 3 \end{pmatrix}$$
 とする.  $A$  を対角化せよ. また  $A^n$  を  $n$  を用いて表せ. (2)  $B = \begin{pmatrix} 13 & -30 \\ 5 & -12 \end{pmatrix}$  とする.  $B$  を対角化せよ. また  $B^n$  を  $n$  を用いて表せ.

問題は裏面に続く

第 5 問.  $2 \times 2$  行列  $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$  とする.

$$f_A: \mathbb{R}^2 \to \mathbb{R}^2$$

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \longmapsto A \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$$

とおき, A を  $f_A$  に対応する行列という. 次の問いに答えよ.

- (1) 「x 軸に関しての鏡映 (反転) を行い、135 度反時計回りに回転する変換」に対応する  $2 \times 2$  行列を求めよ.
- (2) 「x 軸に関しての鏡映 (反転)を行い、135 度反時計回りに回転し、さらに x 軸に関しての鏡映 (反転)を行う変換」を  $g:\mathbb{R}^2\to\mathbb{R}^2$  とする。g は「 $\alpha$  度反時計回りに回転する変換」と同じである。 $\alpha$  の値を求めよ。ただし  $0\leq\alpha\leq360$  とする。

第6問.次の行列の計算を行え.

$$\begin{pmatrix}
1 & 0 & 3 \\
4 & -1 & 3 \\
0 & 2 & 1
\end{pmatrix}
\begin{pmatrix}
0 & 1 & -2 \\
7 & -5 & 4 \\
1 & 0 & -2
\end{pmatrix}$$

$$(2) \begin{pmatrix}
2 & -1 \\
4 & 0 \\
3 & -5
\end{pmatrix}
\left\{2 \begin{pmatrix}
0 & 1 & -2 \\
7 & -5 & 4
\end{pmatrix}
- 3 \begin{pmatrix}
1 & -2 & 6 \\
4 & -1 & 5
\end{pmatrix}\right\}$$

第7問. 次の行列A, B, C, Dを次で定義する.

$$A = \begin{pmatrix} -1 & 2 & -5 \end{pmatrix}, B = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 2 \\ 0 & 3 & 0 \\ 4 & 0 & 5 \end{pmatrix}, C = \begin{pmatrix} -2 & 5 & 3 \\ 1 & -3 & 0 \end{pmatrix}, D = \begin{pmatrix} -4 \\ 3 \\ 1 \end{pmatrix}$$

AA, AB, AC, AD, BA, BB, BC, BD, CA, CB, CC, CD, DA, DB, DC, DD の 16 個の組み合わせのうち、積が定義されるものを全て求め、その積を計算せよ.

## 解答用紙

学籍番号:	名前	
-------	----	--